

2021年度活動報告書

2021年5月～2022年3月



特定非営利活動法人

ならはらの森なかの学舎

目次

1. はじめに
2. これまでのあゆみ
3. 2021年度活動報告
 - (1) なかの学舎 ～子どもが安心して遊び、学び、育つ場所
 - (2) 遊び場 ～地域に開かれた親子の憩いと交流の場
4. 2022年度活動計画
5. 2021年度決算
6. 2022年度予算

1. はじめに

代表理事 高橋 恵子

2022年5月、世界はロシアがウクライナに侵略した状況が続いています。後からこの時代を見ると大きな分岐点となった年と記憶されることでしょう。

そんな2022年4月に、ならはらの森なかの学舎はNPO法人を取得し任意団体で約1年続けてきた歩みを継続しています。私は、学校法人八王子中村学園なかの幼稚園（1968年設立）に1969年に就職し、8年間教諭として過ごした後、園長となり（1976年）2019年3月迄の43年を過ごしました。現在も顧問という形でお手伝いをしています。

なかの幼稚園は、子どもをまん中にした保育ということで知る人ぞ知る、幼稚園です。故久保田浩氏（戦後の民主教育の中で、奈良女子付属小学校の吉城プラン「日常生活過程」で有名）の教育の基本理念である生活教育を柱とした保育をしています。

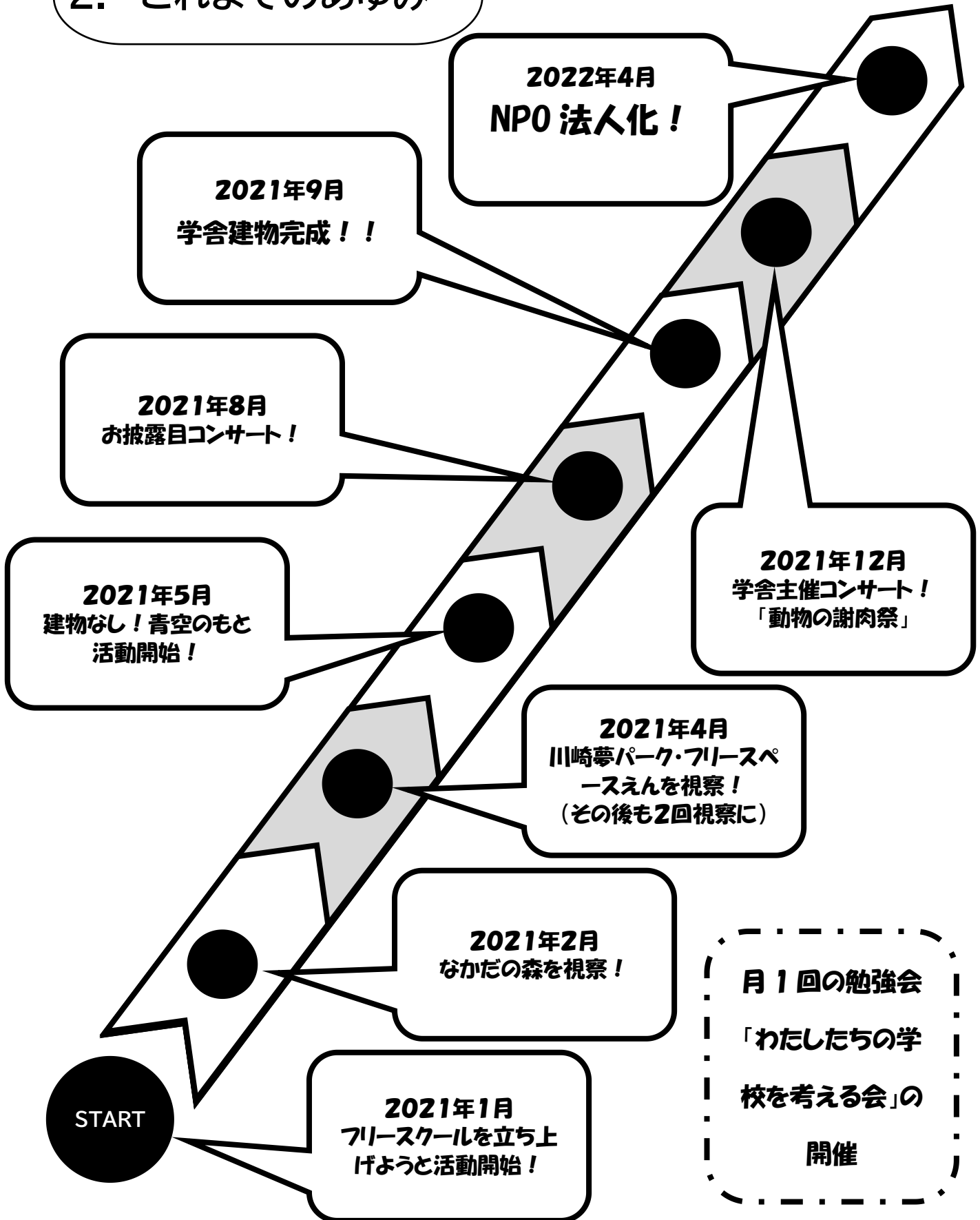
子どもが生き生きと生活する—生活することを通して諸能力を伸ばしていく—それには環境の豊かさ（空間の確保）・友達と出会い協働して作りあげることなどの諸々の要素があります。それを実践・検証していくことを大切にしていって、そんな幼稚園です。卒園生は2022年3月で7331名です。

こういうなかの幼稚園で過ごしていた私ですが卒園生のお母さんから「うちの子が学校に行っていないのですが・・・？」という質問を受けたりしていました。「大変ですねー！」と言っていました、なんと孫が小学校3年生から休みがちに。子どもが家にいると、小学生がランドセルを背負って登下校している姿を見ると、いいなーと思う私でした。今迄の私の不登校に直面しているお母さんへの言葉かけのなんと空々しかったこと！と反省しきりです。2020年の12月に卒園生のお母さん、後藤さんとバッタリ。後藤さんは児童発達支援の現場で活躍していて、時々通所しているお子さんの園での様子を見に来て下さっていました。「先生、何か、不登校のことで動き始めましたか？」と。2～3年前から不登校の子が通える場所があるといいな、と周りの人に話していたんですね。2021年1月15日に第一回の話し合い。そして「なんとかしよう」と火がつき、後藤夫妻の後押しがあり、私の持っている檜原の林を有効利用することとなりました。やはり卒園生の父母の松尾夫妻、傳刀夫妻、内田夫妻、満田さん、山下さん、在園生の父母の佐藤夫妻も「手伝います」と言って下さり、毎月一度位ずつ勉強会をしたり、なかだの森（日野市）・ゆめパーク（川崎市）に見学に行ったりとしていきました。まずはやってみよう、という私の特性から、2021年5月に、私の持っている林の隣にあるボーイスカウト第12団が使っている林を借り、そこにいつも居てお世話してくださる小笠原氏という強力な助っ人も現れて、順調にスタートを切りました。

子どもと保護者が青空の基で集い、ゲームや運動、木登りなどを中心に林の中で後藤さん、松尾さん中心に動き始めました。8月28日（土）には、お披露目をかねてミニコンサートを開催。卒園生のお父さん、お母さんのJAZZ、卒園生のピアノ、フルートのデュオ。約80名の方が林の中のコンサートを楽しみました。これには、まずは学舎の存在を知ってもらおうと近隣の中野上1、2、3町会、中野山王、中野町、犬目町、檜原町会に回覧板のビラを配ったのが功を奏したんですね。ここでも卒園生の西沢さんという、地域力の塊のような方のお力添えがありました。回覧板のビラを見て参加して下さった方が寄付もして下さり、なんと30万円というお金も集まりました。これが冷蔵後やカーテン、その後の活動の資金となりました。地域の力を実感しました。

2021年9月下旬、ついに学舎が完成！！火曜日の英語、水曜日の体操、木曜日のヨガなどのプログラムも入りました。お昼ご飯は自分達で、という基本で、ご飯を炊く、味噌汁を作るなど協働作業を行っています。ケンカをしてお互いの考えを知ったA君、ここにいるのもいいけど、僕は高尾山学園に行くよと巣立っていったB君。9月から3月までの6ヶ月間でいろいろな子どもの姿が見えました。なかの幼稚園の理念である、一子どもが生き生きと生活する、生活することを通して諸能力を伸ばしていくこと—これらが小学校1年生から中学生までの大きな異年齢集団の中でどう実践されていくのかな、又、学力という問題をどう考え、実践できるのか、まだまだスタートしたばかり。しかし、子ども同士の刺激の大切さ、学校という様々な機能がある場所とどう連携していくといいのかな、と試行錯誤をしながら、子ども達の今を大事にしていきたいと考えています。4月からは、内田稔氏という小学校教員を退職して来て下さった、頼もしい男性も加わってくれました。後藤、松尾、内田と3人のチームワークで、どんな学舎の色がついていくのかな。楽しみです。いつもお金という問題がついて回ります。皆様のご支援をお待ちしています。

2. これまでのあゆみ



3. 2021年度活動報告

(1) なかの学舎 ～子どもが安心して遊び、学び、育つ場所

【目的】

既存の学校の中に居場所を見出すことが難しい子どもたちが年々増えてきています。いわゆる発達障害や不登校と呼ばれる問題はその一端と言えるでしょう。しかし、それは単純に子どもの問題として片づけてしまってよいのでしょうか。そのような子どもたちも、その子らしさを大切にされ、ありのままの自分であることが認められる、安心して安全な環境に身を置くことができれば、本来もっている可能性を十全に発揮し、伸び伸びと学び、育つことができるのではないのでしょうか。全ての子どもたちの学び、育つ権利を守ることができるよう、学校をはじめ、様々な機関と連携・協力をしながら、活動を進めています。

【2021年度の活動報告】

- プレ活動 青空の下、2021年5月8日より開始。原則、毎週火・水・木曜日10:00～15:00(雨天中止)
 - ・開催日数: 5月…5日、6月…14日、7月…6日、夏休み…5日 合計30日
 - ・活動内容: 木登り、鬼ごっこ、水遊び、バドミントン、野球、ドッジボール、虫捕り、ボーイスカウトの小さな屋根の下でボードゲーム、本読み、絵や文字をかくなど
- 夏休み 中野市民センターにてバドミントン 合計5日
- お披露目コンサート 2021年8月28日(土)10:00～
 - ・内容: ジャズ演奏、フルートとピアノ演奏
 - ・参加者数: 110人
- 開校・本格的な活動 9月建物完成 9月21日より毎週月曜日から金曜日9:30～15:30
 - ・開催日数: 9月…20日、10月…21日、11月…20日、12月…18日
1月…15日、2月…18日、3月…18日 合計130日
 - ・活動内容: プレ活動から行ってきた内容に加え、講師を招いてのプログラム(火曜日…英語、水曜日…体操・ダンス、木曜日…笑いヨガ、金曜日…野外活動)、毎日の昼食作り、季節の行事に合わせた料理作り、お菓子作り、小さな企画での遊び、なかのマルシェへの出店(10月9日)、地域散策(10月20日)→弁天池、叶谷榎池の湧水、相即寺、西蓮寺、味噌作り(2月28日)
- 親子コンサート 2021年12月28日(火) なかの幼稚園にて「動物の謝肉祭」2回公演
 - ・参加者数: 130人

**165日開催
のべ666人参加!**

【反省と今後について】

2021年度は、建物が完成する4か月前から、子どもたちの安心できる居場所として活動を開始した。何も無い状態から、試行錯誤し、工夫を凝らしながら一つ一つ課題を乗り越え、現在の基本的な活動の流れを確立してきた。当初5人からスタートした入会者数は、23人(2022年5月14日現在)へと広がった。見学者数も9月以降の半年だけでも50人を超え、問い合わせも後を絶たない状況である。2021年12月・1月辺りから新しく入会する子ども達の数も増え始めた。活動開始当初からいる子ども達と新しく入って来た子ども達の間には、まだまだ信頼関係が築かれているとは言えない状態である。新旧メンバー間の信頼関係・仲間意識の構築、また子ども達の自治意識を高めていくことが今後の課題である。また、学校をはじめ、様々な関係機関との具体的な協力・連携の在り方についても、八王子市におけるモデルケースとなることができるよう一層確かなものにしていきたい。

(2) 遊び場 ～地域に開かれた親子の憩いと交流の場

【目的】

地域子ども・大人が安心して過ごすことのできる第三の居場所を目指しています。子どもにとっては、学校・家庭以外に自分自身を認めてもらえる場があることは、社会への信頼と、希望を育むために重要です。挑戦したい！ やりたい！ の気持ちを、大切に見守っています。また、地域の人誰でも参加ができる場を開くことにより、参加者同士の自由な学び合いが生まれています。

子どもたちが繋がりの中で育ち合うように、親も一人で悩まないように、支え合い、心をほぐせる場所として遊び場の企画をしています。地域の人たちのつながりが、温かく子どもたちの将来を照らします。大人にとっても、子どもたちとの遊びの時間や、子育てについて相談ができる場は必要であるという思いで継続開催をしています。

【2021年度の活動報告】

遊び場開催記録/保険代含め参加費100円

○8月4日 水鉄砲 石に絵の具でペイント ドリームキャッチャー
スラッグライン 33組 84人

○9月11日 シャボン玉 石の絵の具 ドリームキャッチャー
9月4日予定していたが 雨天のため次週土あそとコラボで幼稚園で行う
25組 51人

○10月9日 ならはらの森マルシェにて募金活動
募金 2770円

○11月6日 リースづくり 石削りポディーペイント ドリームキャッチャー
スラッグライン 菊池先生によるロープ講習並行して
42組 120人

○3月13日 遊ぼう！焼き芋！初めての焚火。スラッグライン。石に絵を描こう。
ケガと弁当は自分もち。
29組 104人

**のべ144組、
399人参加！！**

【反省と今後について】

2021年度は、元々の顔見知りの参加者が多かったが2022年度は新たに、ならはらの森なかの学舎遊び場を知ってもらい、地域の子どもの居場所となるようにしていきたい。また、積極的に募っていく。そのためには遊び場のSNSの立ち上げをして活用していきたい。

2021年度同様、近隣の小学校に手紙を配布し、ならはらの森なかの学舎遊び場を知ってもらう。放課後見守りについては、放課後子どもたちの孤立を防ぐための場所を開けておきたい。宿題も持ってきてやっても良いことにしたい。

4. 2022年度活動計画

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
誰もが安心して過ごし、学び、遊べる場所を開設し、運営する事業	敷地内での野外活動、英語、ダンス、体操、木工などの体験や、昼食作りなどを実施する。	毎週月～金	敷地内の屋内、屋外	3人	入学している子どもたち	10人	4956
	子どもたち、およびその家族を対象として、敷地内の屋外を開放することにより、子どもたちとその家族の交流を図る。	毎週火・木曜日	敷地内の屋外	2人	八王子市近辺の、子ども及びその家族	240人	60
不登校・引きこもりなどで悩む本人や家族等の相談・援助活動事業	子どもたち、その家族が悩みを共有したり、情報交換ができる場を提供したり、講演会などを企画する。	毎月第3土曜日(夏・冬休みのぞく)	敷地内の屋内	1人	不登校などで悩む子どもたち及びその家族。	40人	10
誰もが自由に集える機会と場所を提供する事業	マルシェ等を企画、開催し、場所を提供する。	5月、9月、11月各月一回	敷地内の屋内、屋外	2人	八王子市近辺の、興味がある人	100人×3回	20
	地域の住民を対象に、料理教室、健康体操などの活動の場所の提供を行う。	毎月第1、2、4土曜日	敷地内の屋内、屋外	1人	地域の住民	5人×36回	20

5. 2021年度決算

収入の部

項目	金額	備考
事業収入	831,600	入会金、月謝、通学チケット料金
事業収入2	64,155	マルシェ場所代、コンサート利益
寄付金	892,160	
助成金	503,000	歳末助け合い、ムラウチ助成
雑収入	2,810	保険返金分
昼食代	158,100	
合計	2,451,825	

支出の部

項目	金額	備考
給与手当	950,850	居場所スタッフの給与
外部講師料	136,000	
印刷製本費	24,640	チラシ等
消耗品費	330,492	カーテン、印刷インク代、紙代、日用消耗品など
諸会費	2,500	市民活動協議会会費
水道光熱費	34,722	
保険料	30,286	
相談料	6,000	NPO 設立相談
図書費	13,860	
環境整備費	126,046	砂利、ブロック、倉庫設置など
昼食費	158,100	
通信運搬費	43,637	携帯電話料金、Wi-Fi
会議費	7,724	飲料代等
工具器具備品	586,968	パソコン、エアコン、冷蔵庫、倉庫
合計	2,451,825	

上記の通り会計報告致します

会計

山下 享子

印

会計監査報告

上記会計報告は、会計帳簿ならびに関係領収書に照らし、相違ないことを照明致します。

令和4年5月13日

会計監査

傳刀 裕司

印

6. 2022年度予算

【A】 経常収益

1	受取会費	210,000	
	正会員受取会費	60,000	
	賛助会員受取会費	150,000	
2	受取寄附金	1,300,000	
	受取寄附金	1,300,000	
	施設等受入評価益		
3	受取助成金等	677,000	
	受取補助金	677,000	
4	事業収益	4,585,000	
	誰もが安心して過ごし、学び、遊べる居場所を開設し、運営する事業収益	4,420,000	
	不登校・引きこもりなどで悩む本人や家族等の相談・援助活動事業収益	15,000	
	誰もが自由に集える機会と場所を提供する事業収益	150,000	
5	その他の収益	0	
	受取利息		

経常収益計 6,772,000

【B】 経常費用

1	事業費	
	(1) 人件費	4,976,000
	給料手当	4,966,000
	役員報酬	0
	退職給付費用	0
	福利厚生費	10,000
	(2) その他経費	646,000
	講演会外部講師料	20,000
	活動費用	120,000
	遊び場材料費用	60,000
	会議費	30,000
	環境整備費	30,000
	旅費交通費	0
	施設等評価費用	0
	減価償却費	0
	印刷費	36,000
	食材費	330,000

保険代	20,000		
事業費計	5,622,000		
2 管理費			
(1) 人件費	60,000		
役員報酬			
給料手当	60,000		
退職給付費用			
福利厚生費			
(2) その他経費	1,020,000		
消耗品費	120,000		
水道光熱費	240,000		
通信運搬費	60,000		
地代家賃	600,000		
旅費交通費	0		
減価償却費	0		
管理費計	1,080,000		
経常費用計	6,702,000		
当期経常増減額	【A】 - 【B】	・・・①	70,000
【C】 経常外収益			
固定資産売却益			
過年度損益修正益			
経常外収益計	0		
【D】 経常外費用			
固定資産売却損			
災害損失			
過年度損益修正損			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	【C】 - 【D】	・・・②	0
税引前当期正味財産増減額	①+②	・・・③	70,000
法人税、住民税及び事業税	・・・④	70,000	
設立時正味財産額	・・・⑤		
次期繰越正味財産額	③-④+⑤		0



特定非営利活動法人 ならはらの森なかの学舎

〒193-0803 東京都八王子市櫛原町 1378-16

Tel. 070-8590-6463

E-mail: naraharanakano@gmail.com

Web: <https://nakanogakusya.com>